

内部障がい・難病について知ろう

内部障がいとは…

肢体不自由以外の身体の内部の障がいで、心臓、腎臓、呼吸、膀胱、直腸、小腸、肝臓の各機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能のいずれかの障がいで、日常生活や社会生活に支障が生じている状態です。

内部障がいの特性は？

● 心臓機能障がい

動機、息切れなどの症状があり、脈拍を正常に調整するためにペースメーカーを入れている方もいます。

● 腎臓機能障がい

体内に溜まった老廃物を排せつするために、定期的に通院し、人工透析を受ける必要があります。

● 膀胱・直腸機能障がい

尿や便を溜めたり、排せつする機能が低下又は喪失した状態です。人工肛門・人工膀胱をつけている方(オストメイト)は排せつ物を溜めるための専用の装具をお腹につけています。

● 小腸機能障がい

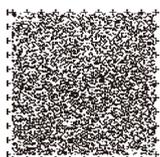
消化吸収能力が不十分なため、食事制限があったり、全く食べられなかったりします。

● 呼吸機能障がい

呼吸困難、息切れなどの症状があります。体の中の酸素が不足するため、酸素ボンベを携帯している方もいます。

● 肝臓機能障がい

肝炎ウイルスなどにより、倦怠感、疲労感、おう吐、けいれん、肝性脳症の症状が現れます。



《音声コード》

● ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がい

このウイルス(HIVウイルス)が人に感染し発病すると、免疫機能が低下して様々な感染症にかかりやすくなります。

こんなことに困っています…

- 外見からは分かりにくいいため、電車やバスの優先席に座っても理解されないなど、心理的ストレスを受けやすい状況です。



- 障がいのある臓器だけではなく、全身の機能が低下しているため、体力がなく、疲れやすい状況にあります。

- 呼吸器に障がいのある方の中には、タバコの煙が苦しい方もいます。



理解してほしいこと

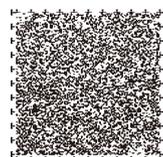
- ◆ 体力が低下しやすいため、長時間立ち続けたりすると多大な負担になることがあります。
- ◆ 携帯電話・スマートフォンの電波によってペースメーカーの誤作動が起こる場合がありますので配慮が必要です。

難病とは…

発病の原因が不明で治療方法が確立していない、希少な疾病であり、長期の療養を必要とするものをいいます。全身の筋肉が次第に衰えていく筋萎縮性側索硬化症(ALS)や手足のしびれ、痛みが生じる後縦靭帯骨化症など、幅広い疾病が難病にあたるとされています。

こんなことに困っています…

- 痛みやしびれ等の症状が毎日ある方や、日によって違う方、進行性の症状があり、大きな周期で良くなったり悪化する方もいます。



おんせい
《音声コード》